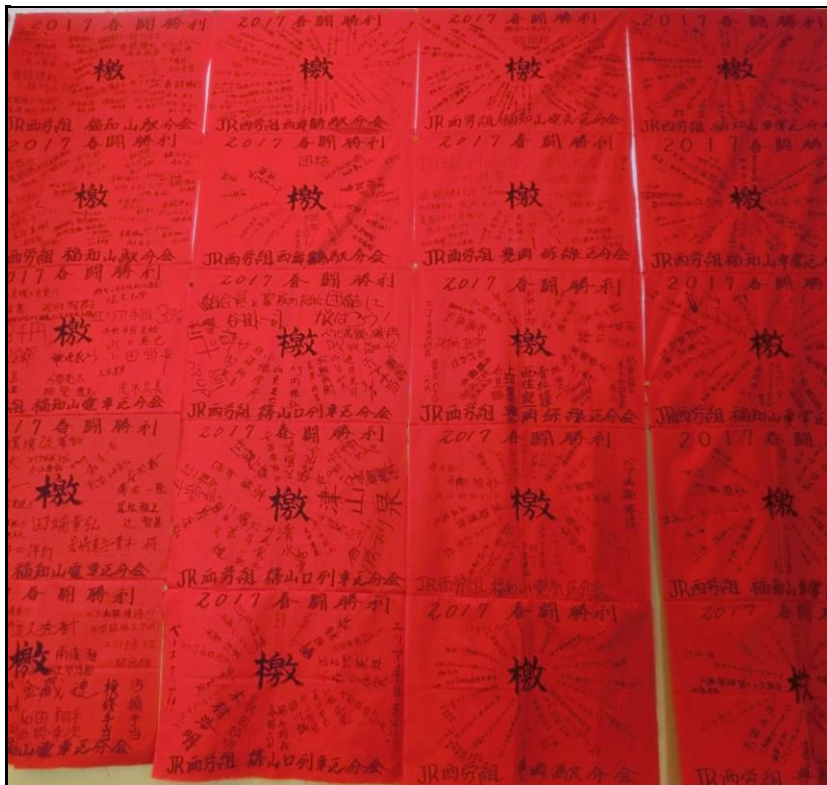


福知山地方本部

3月11日 各支部代表者決意表明 春闘勝利組織拡大総決起集会



各分会で一人一人の熱い思いが記された檄布43枚が貼られ15日のヤマ場に向け集結した約100名の組合員は団結を誓い合った



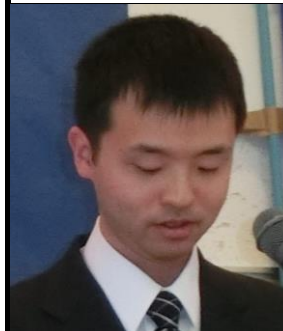
(真狩執行委員長挨拶)

真狩委員長

福知山地方本部はヤマ場まで後4日と迫った3月11日、丹勤労者福祉会館において、「2017春闘勝利・組織拡大総決起集会」を開催し、中央本部から里内副執行委員長を招き、春闘情勢について報告を受け情報の共有化を図りました。各支部代表者、3名が決意表明を行い、満員の会場と組合員の熱い思いが込められた檄布からは、今春闘に対する賃金改善等への組合員の熱い思いがひしひしと伝わりました。

2017春闘要求

- ・ベア 3,000円
- ・年間臨給 5.7ヶ月
- ・シニア社員・シニアリーダー社員・契約社員の待遇改善
- ・55歳以降の基本給調整率の廃止
- ・エリア手当3%等



篠山口支部 池田 光司 執行委員

各支部の決意

JR西労組は安全の確立を最優先課題に位置づけ取り組みを進めてきたが、2月11日に山陽本線糸崎駅構内において触車による死亡労災が発生した。福知山支社管内でも和田山変電所での感電した事象を含め今年度5件発生しており、事故防止に努められたい。安全提言の中にもある報告文書の醸成の検証活動に加え、安全考動計画2017の検証アンケートの記入をお願いする。春闘は掲示板の活用、ダイレクトニュースの登録など全組合員の参画を要請する。JR西労組は結成25周年を迎え、現在の高い組織率を構築して頂いた先輩諸氏に感謝し、今年配属予定の新入社員の全員加入に向けた取り組みを要請する。労働運動の原点は分会であり、分会執行委員会の定例開催や職場集会の開催、世話役活動を通じ、組合員との信頼関係を築くことが重要な課題である。



集会アピール 阿瀬地本青女委員長

厳しい状況の中での春闘だが、堅調な会社経営を作り出しているのは日々精力的に働き安全安定輸送を支えているJR西労組組合員である。福知山支部は昨年10月、9分会の代表者で定期大会を開催し、春闘方針を決定した。結成25周年を迎え、ますます発展しなければならぬ。その一歩として要求の満額回答を勝ち取るため力強く運動を展開する。



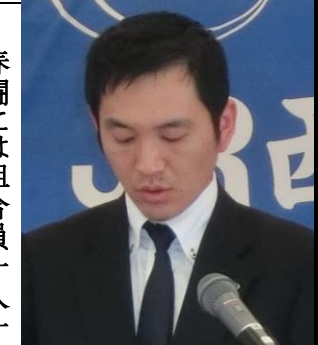
福知山支部 高木 準 青女委員長

篠山口支部は福知山線という「信頼回復線区」を乗務・保守・管理しており、なかでも篠山口列車区分会は9割がアーバン線区を乗務しており、エリア手当1%では格差が大きいため、改善を強く要求する。分会から熱い思いを起し、全組合員が積極的に参加していく。1月に支部・分会・青女合同の旗開きを盛大に開催し、3月には青女定期委員会、成人祝賀会を開催する。日々の世話役活動が団結力・組織強化に繋がることを考える。



聞き入る参加者 人材確保の観点からも職場環境改善を!

春闘には組合員一人一人が要求を絶対勝ち取るんだという強い意志が必要である。JR連合発足の緊張感を思い出し、労使関係を構築してほしい。人材への投資の必要性を強く訴える。経営状況は順調に推移しており、世代交代の中で業務の精励など鉄道の再生と発展に努力している。地域共生・地域密着を図り、現場で奮闘している社員に対し適正な配分を求めるのは正当な権利であり、現場力強化が必要である。働く者の雇用を守り生活の安定を図り、社会的責任を果たすためにも全力で戦い勝ち取らなければならない。



豊岡支部 上村 哲央 委員長

